

enPiT  
Interview  
2015

現場からの声

## enPiTはここがイ!

enPiT受講生と教員に聞いてみました

enPiT平成26年度は4分野合計で500名を超える学生が修了しました。参加大学数、連携企業数も年々増加しており、充実した教育が行われています。教育現場からの生の声をお届けします。



## enPiT Cloud クラウドコンピューティング分野

▶大阪大学・神戸大学 Cloud Spiral

### チームで学ぶ、 学年・地域を超えた交流



京都産業大学  
山栴大祐さん



神戸大学  
大河原修さん



神戸大学  
鷹取敏志さん



大阪大学  
雑賀翼さん



和歌山大学  
谷川博哉さん

#### —enPiTへの期待は?

**雑賀さん** 座学でなく実践に近い、たとえばチーム開発力を身に付けられるのかなという漠然とした期待がありました。研究室の先輩からも、良い内容なので受けてみたらという助言をいただきました。

**大河原さん** 学部では情報学や数学といった理論中心の講義が多く、もっとプログラミングをしたかったこと、加えて、チームマネジメントに興味があり、enPiTではいずれも学べると聞いて参加しました。

**鷹取さん** 私もプログラミングが好きでenPiTに参加しました。また、他大学の学生や先生との交流も期待がありました。

**山栴さん** もっとも期待したことは他大学との交流です。また、チーム開発をenPiTで体験できることも期待した点です。講義や演習についていけるかどうか不安はありましたが、基礎から先生がしっかり教えてくれるので、その不安もいつの間にか消えていました。

**谷川さん** 私の所属研究室の先生もenPiTに参加されています。また、先輩がこのコースを受講しており、その様子を見ていて、面白そうだなと感じていました。実際、先輩からは「刺激をもらったよ」、「自分の学科にはないことができる」、「忙しいけど面白かった」という話を聞かせてもらいました。

#### —受講されたコースの評価は?

**谷川さん** 100点満点です！プログラミングを行うこと、人的交流、プロジェクト管理、会議運営など、当初の期待はすべて達成できたと思います。個人的には110点をつけたい気持ちです。

**雑賀さん** 97点です。期待以上だったので100点をつけたいところですが、合宿の場所(六甲山)がちょっと…インターネット環境が十分とはいえず、講義・演習にも影響が出てしまったからです。クラウドを学ぶにはネットワークは重要ですからね。

**大河原さん** 80点です。思い描いていた開発が十分にできなかったためです。とはいえ、技術レベルの高い集まりの中で、普段ではなかなかできない議論ができました。また、プロジェクトマネジメントやプレゼンテーション能力も向上したことを実感しています。

**鷹取さん** 90点です。一年間で3つのチームを経験してきたわけですが、今回のチームが最も効率よく取り組めたと思えました。残念な点は、コースの最後の方でビジネス化の話題が出てきたのですが、できればもっと早くこの話題には触れて欲しかったです。

**山栴さん** 僕も90点です。期待通り、他大学の学生や先生方とのコミュニケーションを取りながら、開発を行えました。すごい仲間と一緒にできたことは大きな財産です。一方で、本当に忙しかったです。学会、コンテストへの参加や、もちろん研究室にも行かなければならず、移動が大変でした。

#### —enPiTのオススメポイントは?

**山栴さん** すごい人に巡り会えたことです。そういう機会を与えてくれる場として一押しです。

**鷹取さん** いいチームに恵まれる可能性があります。このチームは最高でした。

**谷川さん** 新しい発見が多く、実践的で、大いに勉強になると伝えたいですね。

**雑賀さん** チームでの開発、一緒に作業をするという貴重な経験が得られる場です。他ではできないと思っています。

**大河原さん** 大学の研究室とは違うコミュニティに参加できる点と、プレゼンテーションや会議といった、相手がいないと成り立たない教育が受けられる点です。

先生の  
視点神戸大学大学院システム情報学研究所 特命助教  
杉本真佑先生

Cloud Spiralでは前年度の受講生が積極的にかかわっており、学年を越えた縦の連携があります。大学間の横の連携も含めて、縦・横のつながりが広がることを期待します。

神戸大学大学院システム情報学研究所 特命助教  
佐伯幸郎先生

技術とビジネスの双方から考える。Cloud Spiralはそういう意味でも良い場です。受講生からベンチャーが出るのと嬉しいですね。

## enPiT Security セキュリティ分野

▶北陸先端科学技術大学院大学

## 苦勞してこそその本質が理解できる

北陸先端科学技術大学院大学  
STEWART, Gavin Lynnさん北陸先端科学技術大学院大学  
福田真啓さん北陸先端科学技術大学院大学  
足立大地さん北陸先端科学技術大学院大学  
木藤圭亮さん

## —enPiTへの期待は？

**福田さん** 情報セキュリティの専門家が何を考えていて、どのような仕事をしているかをじっくり学べると思いました。

**スチュアートさん** それまで、情報セキュリティを学ぶ機会はほとんどありませんでしたが、セキュリティ分野の最先端を学べるということで応募しました。

**木藤さん** enPiTは手を動かす実践型の教育プログラムです。コーディングして、モノ作りが好きな自分に合っていると思って選びました。

**足立さん** 僕も実践型学習であることがひとつの理由でした。また、情報セキュリティ分野を幅広く学べると聞いていたので、参加を決意しました。

## —研究との両立は苦勞されたのではないのでしょうか？

**福田さん** あまり効率よくやれない方なので、研究との両立は苦勞しました。もうここは単純に時間をかけることで乗り越えました。

**スチュアートさん** 課題の量の多さには正直なところ参りましたね。

**木藤さん** SecCap側の課題もさることながら、研究室から出される課題もあって、締め切りが同じ時期だったりするともう涙モノでした。

**スチュアートさん** 夏休み期間中が一番忙しかったですね。何かに追われているような感じでした。

**足立さん** 私の場合、数学に対して苦手意識が強いため、そこが苦勞しました。ただ、実装してみることで理解は深まりました。

## —SecCapの良かった点は？

**木藤さん** ハンズオン形式の講義・演習は良かったです。私たちにとって一番学びやすいスタイルだったと思います。

**福田さん** 当初からの期待でもあったセキュリティの専門家ってどんなことをやっているのかがわかりました。

**足立さん** 他大学の人たちとチームを組んだ実践形式が面白かったです。

**スチュアートさん** 学ぶために必要な環境が揃っており、さらに専門家のフィードバックを得ながらできたことは貴重な体験だったと思います。

## —後輩の方へ一言

**福田さん** 付いて行く自信のある人には本気でお勧めします。

**木藤さん** 時間は割かれますが、得るものは大きいので、お勧めしたいです。

**スチュアートさん** 多少でもセキュリティに興味があるなら、受けましょう。その価値はあります。

**足立さん** 少しでも興味があれば受けてみてください。技術面を心配されているかもしれないですが、やる気があれば何とかできると思います。

先生の  
視点北陸先端科学技術大学院大学  
情報科学研究所 特任助教  
田中覚先生

セキュリティの技術は、enPiTのいずれの分野にも関わってくるものなので、もっと交流したいですね。今年度、分野横断講義という取り組みでいろいろな講義や演習が分野を越えて実施されました。セキュリティとしてどういう内容を提供していくか今後検討ですね。

## enPiT Emb 組込みシステム分野

▶名古屋大学

## 就活に役立つ実践力を身に付けよう

名古屋大学  
佐藤剛さん愛知県立大学  
西村将広さん愛知県立大学  
伊東宥さん

## —enPiTをどこで知りましたか？

**佐藤さん** 入学後に現在の所属研究室で先輩から薦められました。プロジェクト全体の流れを体験する機会はなかなかありません。enPiTではこの全体を体験することができます。社会に出た時に、自分の成長につながるのではないかなと思い参加しました。

**西村さん** 私は所属研究室の教授から紹介されました。研究室の先輩がenPiTに参加していたこともあり、いろいろと話を聞きました。

**伊東さん** 座学だけでは経験できないことを学べ、さらに学生にとって貴重な経験ができることを期待して受講を決めました。

## —選択されたコースに期待していたことを教えてください。

**伊東さん** 自分は計画する力が弱く感じていました。このコースでは計画力を伸ばせると思いました。立てるのも守るのも苦手。それを矯正したいと思って

## enPiT 評価・産学連携WG

最先端の情報技術を  
実践的に活用できる人材が  
育っています！

enPiTは、実践力の成長を標準化テストで測定しています。  
テストの結果、受講生の実践力が高まったことが確認されました。

## 標準化テストで実践力を測る

enPiTは主にPBLによってIT技術の実践力を高めようとしています。4つの分野で多くの教員が参画して、異なるカリキュラムを用いるので、実践力測定の透明性や正確性を保つ工夫が必要です。

そこで評価WGでは、標準化テストであるPROGテストを採用して、学生の行動特性を測定しました。PROGテストは、経済産業省の産業人材育成支援事業を担当してきた河合塾と、キャリア教育を行ってきたリアセック社が共同開発したもので、行動特性を1から7点で測定するテストです。

いました。

**西村さん** 以前、アルバイトとして、仕様書と設計書にもとづいてプログラム制作とテストを行う仕事をしたことがあります。こちらのコースでは、上流工程も経験できることを知り、興味を持ちました。

**佐藤さん** プロジェクト管理能力やスケジュール管理能力を身に付けたいという思いがありました。また、企業と共同研究できることも理由のひとつです。

#### —実際プロジェクトに関わって良かった点を教えてください。

**佐藤さん** OJLには、プロジェクトマネージャーがまた別について、毎週プロジェクトの状況を報告します。その報告に対してきちんとしたアドバイスをいただいたので、研究の質が一層上がったと思います。

**西村さん** プロジェクトの進捗が思わしくなければ次はここまでやろうとキッチリ決めたことは、普通の大学生活では考えられないことです。スケジュール管理能力がかなり鍛えられましたね。

**伊東さん** 自分で書いた仕様書を企業の方に見ていただけたことはとても良い経験でした。仕様書を書くことで、計画的にプログラム制作ができることもわかりました。

#### —後輩に向けてメッセージをお願いします。

**佐藤さん** 当初、期待したプロジェクト管理能力も身に付きましたし、良い設計にするための方法も学びました。加えて、就職活動の対策もしていただけたということで、色々な面で自分を成長させられると思います。

**西村さん** システムエンジニアを目指す方にとっては、上流工程から下流工程までシステム開発がどのように行われるかをひと通り経験する貴重な機会だと思います。

**伊東さん** 普通の学生生活では得ることのできない貴重な経験ができます。少しでも興味があるならぜひ参加してください。

#### 先生の視点



名古屋大学大学院情報科学研究科附属  
組み込みシステム研究センター 研究員

館仲幸先生

名古屋大学のOJLは、プロジェクト管理も含めて、仕事のやり方をひと通り体験しようということを一つのテーマにしています。企業の方からはご自身の成功・失敗体験も踏まえてアドバイスをいただきます。OJLのような教育プロジェクトに協力する企業は、そもそも教育に対して高い関心をお持ちです。また、仕事をうまく進めるために皆で協力しようという雰囲気もあります。

## enPiT BizApp ビジネスアプリケーション分野

▶産業技術大学院大学

### 失敗から学び、 新たな価値を創造する場に



産業技術大学院大学  
産業技術研究科  
竹葉美沙さん



産業技術大学院大学  
産業技術研究科  
二宮啓彰さん



産業技術大学院大学  
産業技術研究科  
落合哲也さん

#### —enPiTを知ったきっかけを教えてください。

**竹葉さん** 2014年4月のあるイベントで、永瀬美穂先生のライトニングトークを聞いたのがきっかけでした。会社ではリーダー経験が少なく、スクラム開発を実践してみたい気持ちがありました。永瀬先生の話聞いて、これは受講するしかないと感じ、すぐに願書を入し、応募しました。

**落合さん** 食関係のマーケティングを本業としています。エンジニアでもなければ、大学も文系出身ということもあり、システム開発については初心者でした。仕事の関係でプログラムを勉強し始めたところにWIREDというオンラインマガジンで、enPiTの特集記事を目にしました。記事は確か、「受講料無料、誰でもプログラマーになれる」だったと記憶しています。とても興味が湧いて、これだということで参加しました。

**二宮さん** 私は会社に所属しており、国内向けのシステム開発の業務に従事しています。グローバルな仕事をしてみたいという希望があり、英語の勉強も兼ねて、グローバルサービスアプリケーション開発コースを選択しました。

#### —実際に受講されて、良かった点を教えていただけますか？

**落合さん** 自分が納得できる良いプロダクトを作ることができたことです。プログラミングは勉強さえすれば、自分でもできるという感覚を掴めました。マインドセットが変わったというか、前向きに考えられるようになったことは収穫です。

**二宮さん** ベトナムと日常的な会話はなんとかできるようになりました。ただ、お金の話など本格的なビジネスの話題になるとまだまだです。

**落合さん** 小さいとはいえ会社を経営する立場なので忙しい時期もありました。そんな時は、チームのメンバーに助けをもらいましたし、特にプログラムの制作について教えてもらうなど、チームに本当にお世話になりました。

### 実践力の発揮には高い行動特性が必要

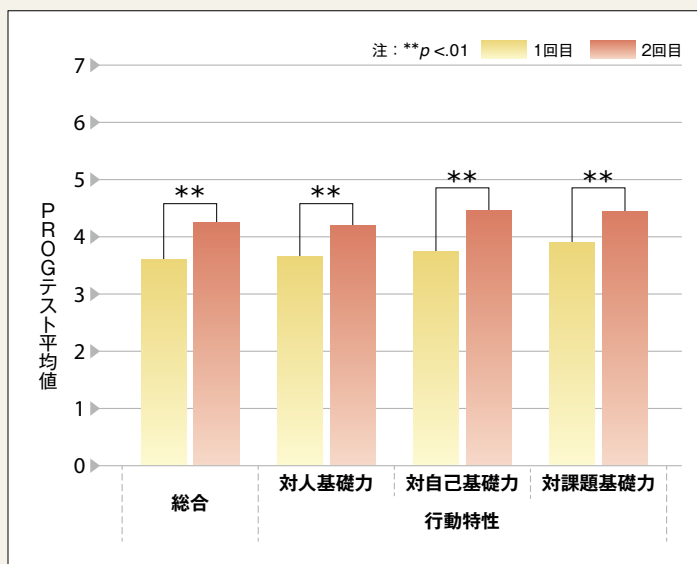
単に物知りで頭でっかちなだけでは、社会の問題解決はできません。実践力のあるITの専門家として活躍するためには、技術の知識だけでなく、それを駆使して、問題解決する「行動」をとることが必要です。人とコミュニケーションをとることや、課題を発見すること、粘り強さなどが求められます。これらは行動特性と呼ばれています。PROGテストでは行動特性を、対人基礎力や対自己基礎力など複数の特性から求めます。

### 2回の測定で行動特性の高まりを確認

平成26年度、enPiTではPBLが始まる前と後の2回、165人の学生にPROGテストを受けていただきました。結果を分析すると、行動特性の得点が高まったことが確認されました。

PROGテストの歴史は長くはありませんが、行動特性を高めるためには、それを狙った教育が必要だと考えられています。今回の結果は、enPiTで実施されている特徴的な教育手法が、IT技術の実践力を高めるために有効であることを示しています。

### ■ 行動特性の変化 (平成26年度受講生)



一次の受講生に伝えたいことは？

**竹葉さん** 失敗する覚悟を持って臨んで欲しいですね。私は何かトラブルがあった時、人が悪いとか、このプロセスが悪いというように思うことが多かったのですが、このコースに参加して初めて自分の言い方が悪かった、あるいは自分のやり方が悪かったと思えるようになりました。失敗から学ぶ、自分ができるということに向き合う覚悟がある人に来て欲しいです。

**落合さん** ウェブ開発、スクラム開発そのものというよりも、自分はどういうことをやりたいというもっと先のことを考えている人が入ってくると面白いなと思います。

**二宮さん** 何をやりたいか、何の役割をやりたいか、たとえば、スクラムマスターをやりたいのか、プログラマーをやりたいのかということは明確になっていた方がいいですね。なんとなく受講して、誰かにこれやってねと言われるよりも、自ら手を上げる気持ちを持つことで、このコースを受講する価値も変わると思います。

先生の視点



産業技術大学院大学  
産業技術研究科情報アーキテクチャ専攻  
特任准教授  
**永瀬美穂先生**

当大学は社会人学生が多く、学びたいという意欲が全体的に高いですね。しかし、現役学生の中には、研究をしたいとか、なんとなく大学にいますという学生もいます。私はそういう人たちにもこのコースを受講してもらいたいと思っています。熱い思いがあり、やりたいことがある意欲的な人もいいのですが、冷めた人もよし、つまりいろんな人に参加して欲しいですね。



産業技術大学院大学 産業技術研究科  
情報アーキテクチャ専攻 客員教授  
(楽天株式会社 技術理事)  
**吉岡弘隆先生**

今、社会人の再教育がとても重要だと思っています。このコースは社会人に関心をもってもらえるプログラムやサービスをどう大学が提供するのかという実験にもなっています。そして、改善を積み重ねることによってもっと面白いものができるんじゃないかなという予感もあります。20歳から60歳までを対象にして、大学がどういうサービスを提供するかの議論のきっかけになれば良いですね。



産業技術大学院大学  
産業技術研究科情報アーキテクチャ専攻  
准教授  
**中鉢欣秀先生**

先生の視点

大学の提供するプログラムですし、いろいろなバックグラウンドを持った人に来てもらいたいですね。この分野とは疎遠だった人であっても良いと思います。

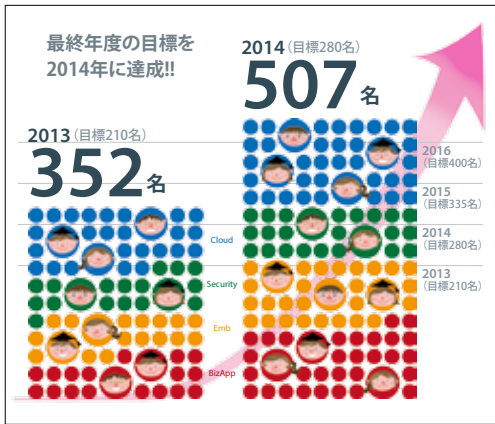
これまでの成果

目標を超える修了生を輩出

詳しくはWEBサイトをご覧ください。

URL <http://www.enpit.jp/about/result.html>

■年度毎の修了生



合宿のお知らせ

※スケジュールは変更される場合があります。詳細はWEBサイト (<http://www.enpit.jp>) や各分野のページをご覧ください。

クラウドコンピューティング分野

西日本エリアでは、8月17日から大阪大学中之島センター(大阪)で、8月31日から立命館大学びわこ・さつキャンパス(滋賀)で短期集中合宿を実施します。東日本エリアでは、9月13日から国立情報学研究所(東京)でプレ合宿を、9月28日からマホロバインズ三浦(神奈川)で短期集中合宿を実施します。ビッグデータプログラミングチャレンジ、アジャイル開発演習、超上流演習など特徴ある合宿を予定しています。

セキュリティ分野

大規模クラスタを使ったインシデント体験や"Capture The Flag (CTF)"(旗取りゲームの形式で制限時間内に情報セキュリティに関する難問に取り組む演習)、ハードウェアセキュリティ演習など、通常の講義ではなかなか学ぶことのできない充実した体験型演習です。8月から9月を中心に合宿は開催されますが、時期や場所は連携大学ごとに異なります。詳細はSecCap事務局にお問い合わせください。

組込みシステム分野

連合型PBLコース(九州大学)では、8月22日から分散PBLの成果発表会を、10月20日から組込みシステムシンポジウム2015と連携して最終成果発表会を行います。いずれも東京で開催します。発展型OJL(On the Job Learning)コース(名古屋大学)では、8月24日から28日まで、9月7日から11日までの2回に分けて合宿を実施します。組込みシステムのグループ演習、企業の技術者も交えた議論、競技会など充実した内容です。

ビジネスアプリケーション分野

産業技術大学院大学では、アジャイル開発手法であるスクラムの実践演習を9月21日から行います。筑波大学では、8月17日から2週間にわたり、ロジカルシンキングやユーザーエクスペリエンス等のオムニバス形式の講義と、実践的に問題解決を行うミニPBLを実施します。公立はこたて未来大学では、8月17日からイノベーションのための問題発見力や発想力、企画力を鍛えるためのデザイン実践演習と、ミニPBL形式の開発演習を実施します。



メルマガ会員募集中!

登録無料

WEBサイトへアクセス!!

今までのトピック

enPiTでは、セミナー・イベント情報、演習の様子など、enPiTに関するホットな情報をお送りするメルマガジンを不定期で発行しています。購読料は無料! ぜひWEBサイトでご登録ください!

- 成果報告会特集(12/18)
- ビジネスアプリ分野夏季合宿特集
- セキュリティ分野特集
- 登録・バックナンバー <http://www.enpit.jp/entry/mailmagazine.html>

enPiT news vol.8 (2015年11月発行予定)

[特集] 短期集中合宿で  
実践力を養う  
短期集中合宿や実践演習の様子を紹介

次号予告

※予告なく変更する場合があります。

